

PagesによるデジタルBook作成③

ーデジタルブックの作成例ー

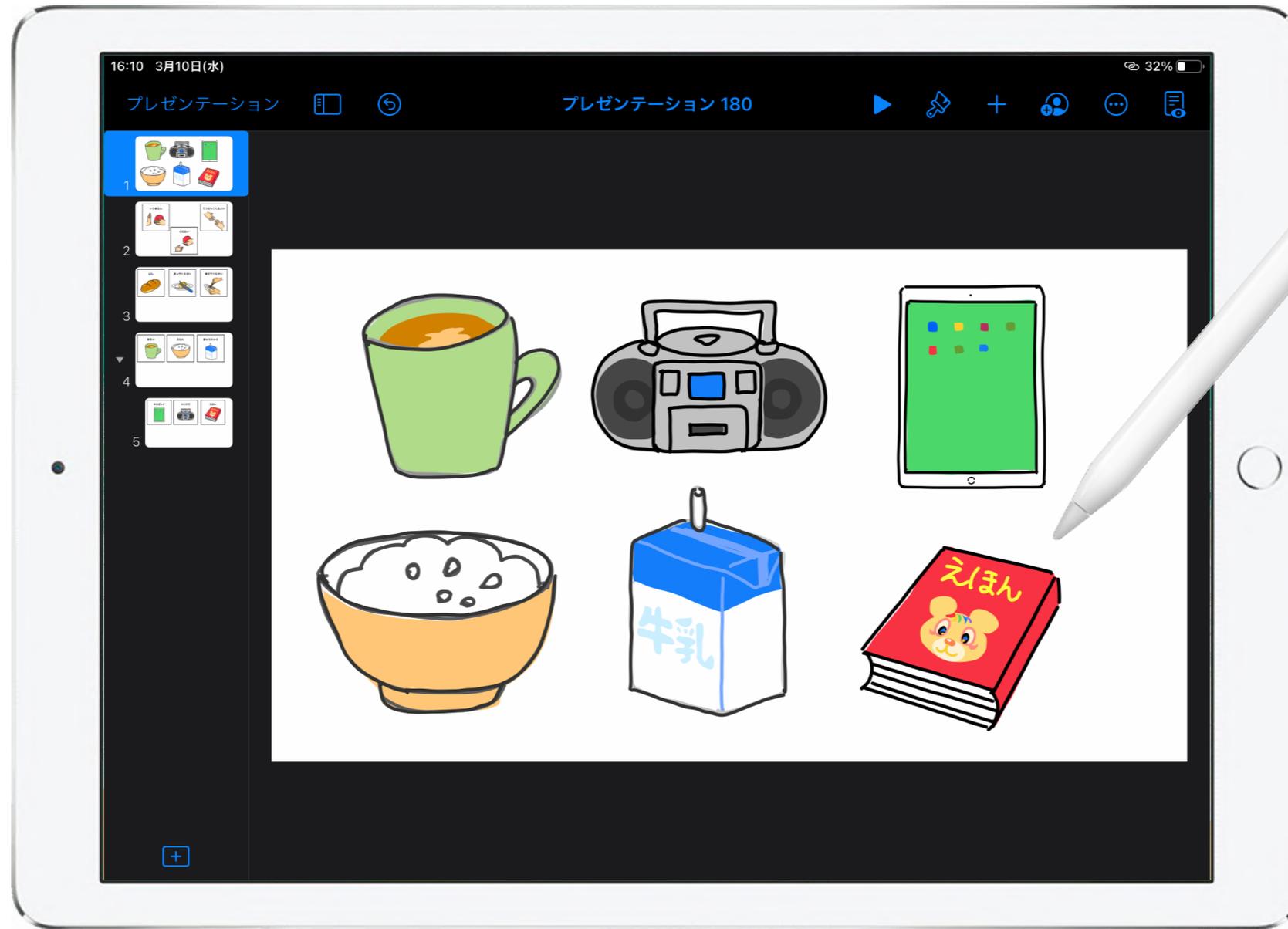


音声入りのコミュニケーションブックを作る



※コミュニケーションブックとは、話し言葉によるコミュニケーションが難しい方が、絵カード等を用いて意思疎通を図るためのツールです。

1、絵カードを作る



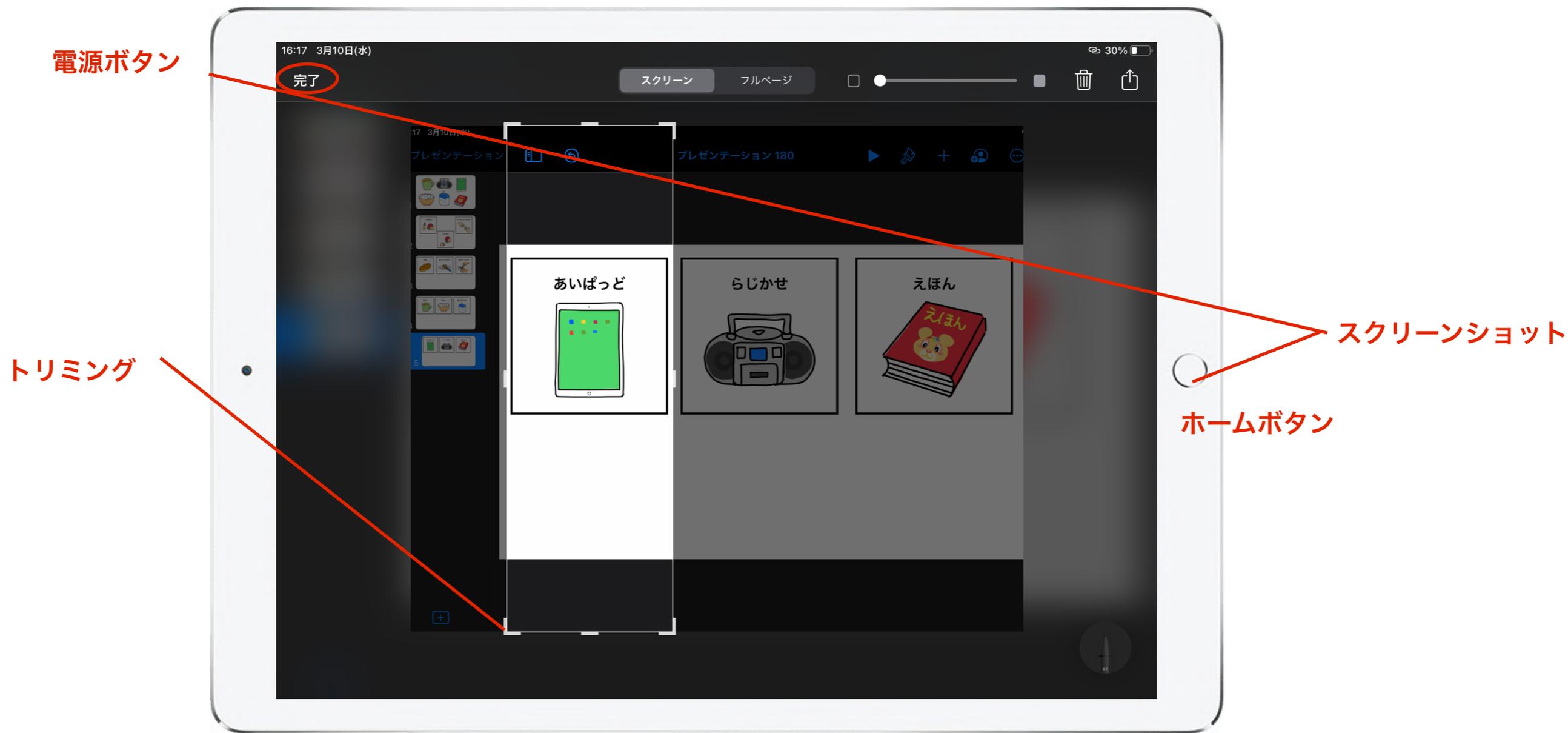
Keynoteの描画機能（Keynoteのマニュアルを参照）を使って、絵カードの素材を描く。

1、絵カードを作る



テキストボックスで絵に対応した文字を入れたり、図形で枠組みを付けたりして絵カードを作る。

1、絵カードを作る



電源ボタンとホームボタンを同時に押してスクリーンショットで画面を撮る。絵カードを一枚ずつトリミングし、完了を押して写真に保存する。

2、絵カードを配置する



給食用

休み時間用



できあがった絵カードの写真をPagesに挿入して、コミュニケーションボードを作る（写真の挿入はPagesのマニュアルを参照）。場面ごとに複数のページを作ると活用の幅が広がる。

3、絵カードに対応した音声を入れる



メニューの「+」から「オーディオの録音」を選択する。

3、絵カードに対応した音声を入れる



録音ボタンをタップして「ごはん」などの絵カードに対応した
音声を録音する。

3、絵カードに対応した音声を入れる



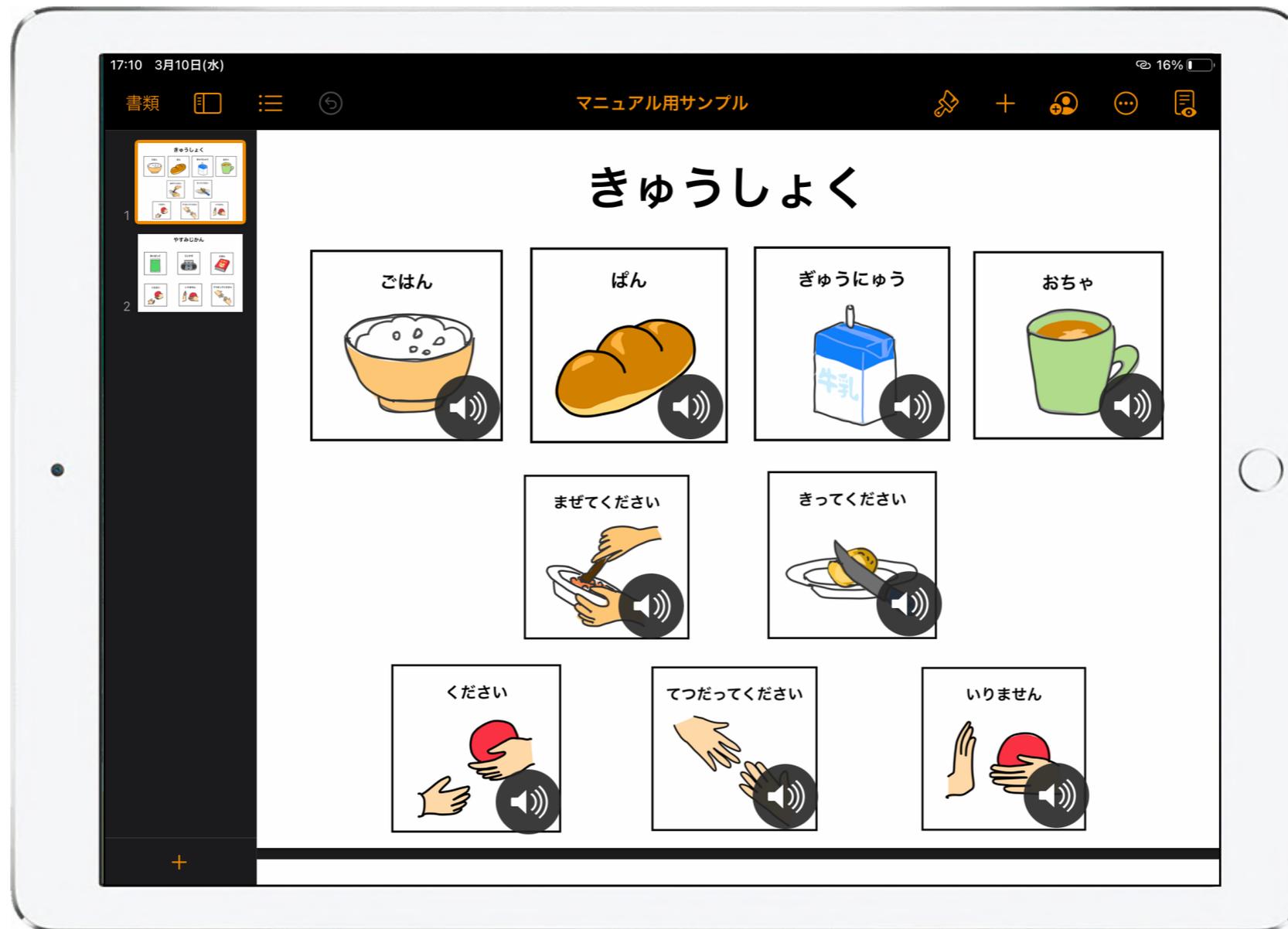
必要に応じてトリミングなどの編集をし、「挿入」をタップして音声を入れる。

3、絵カードに対応した音声を入れる



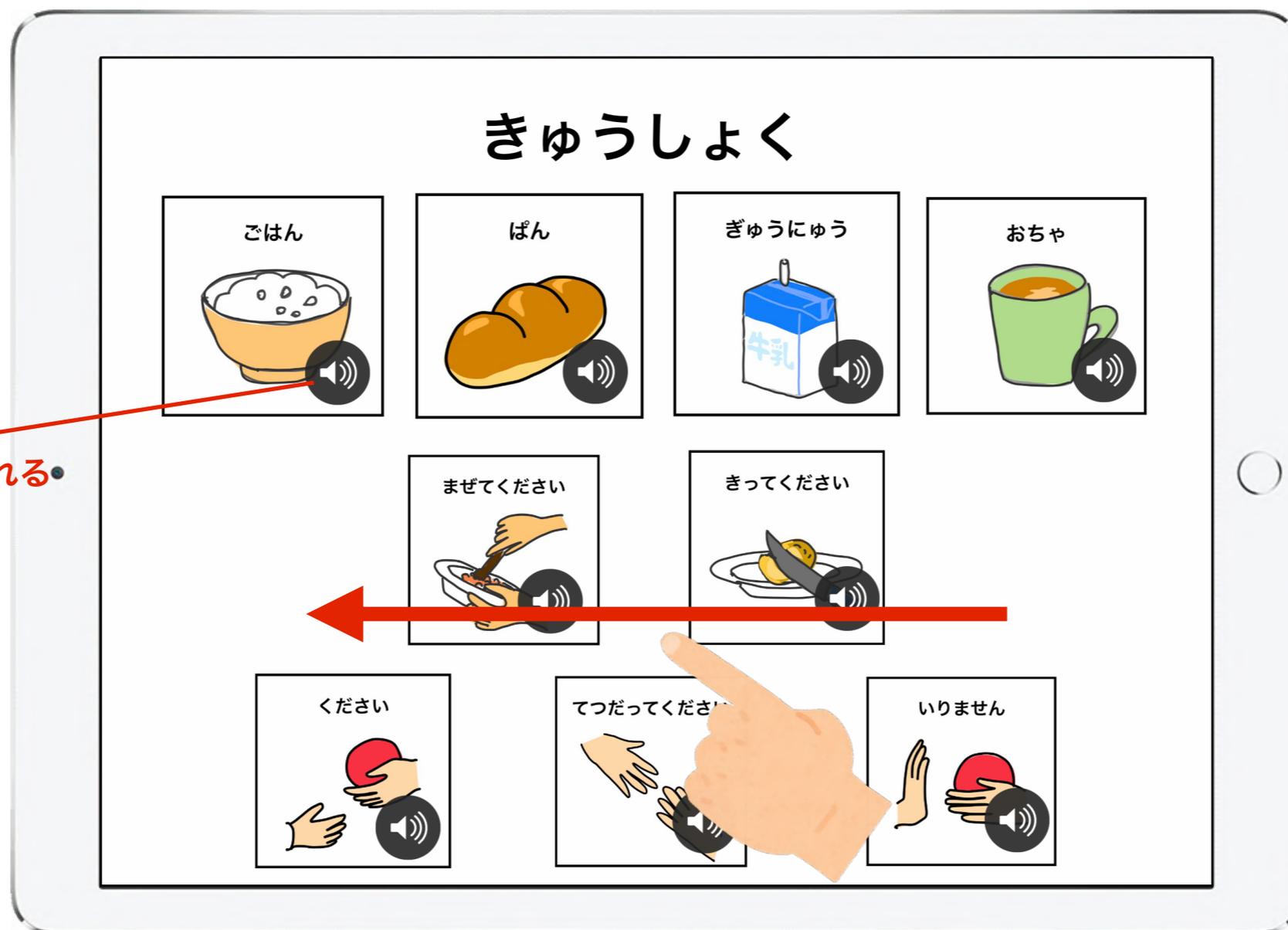
挿入した音声は「」のマークで表示されるので、マークをスワイプして絵カードに重ねる。

3、絵カードに対応した音声を入れる



必要な音声が入ったらデジタルブックとして書き出す（ブックの書き出し方はPagesのマニュアルを参照）。

4、できあがったブックを確認する

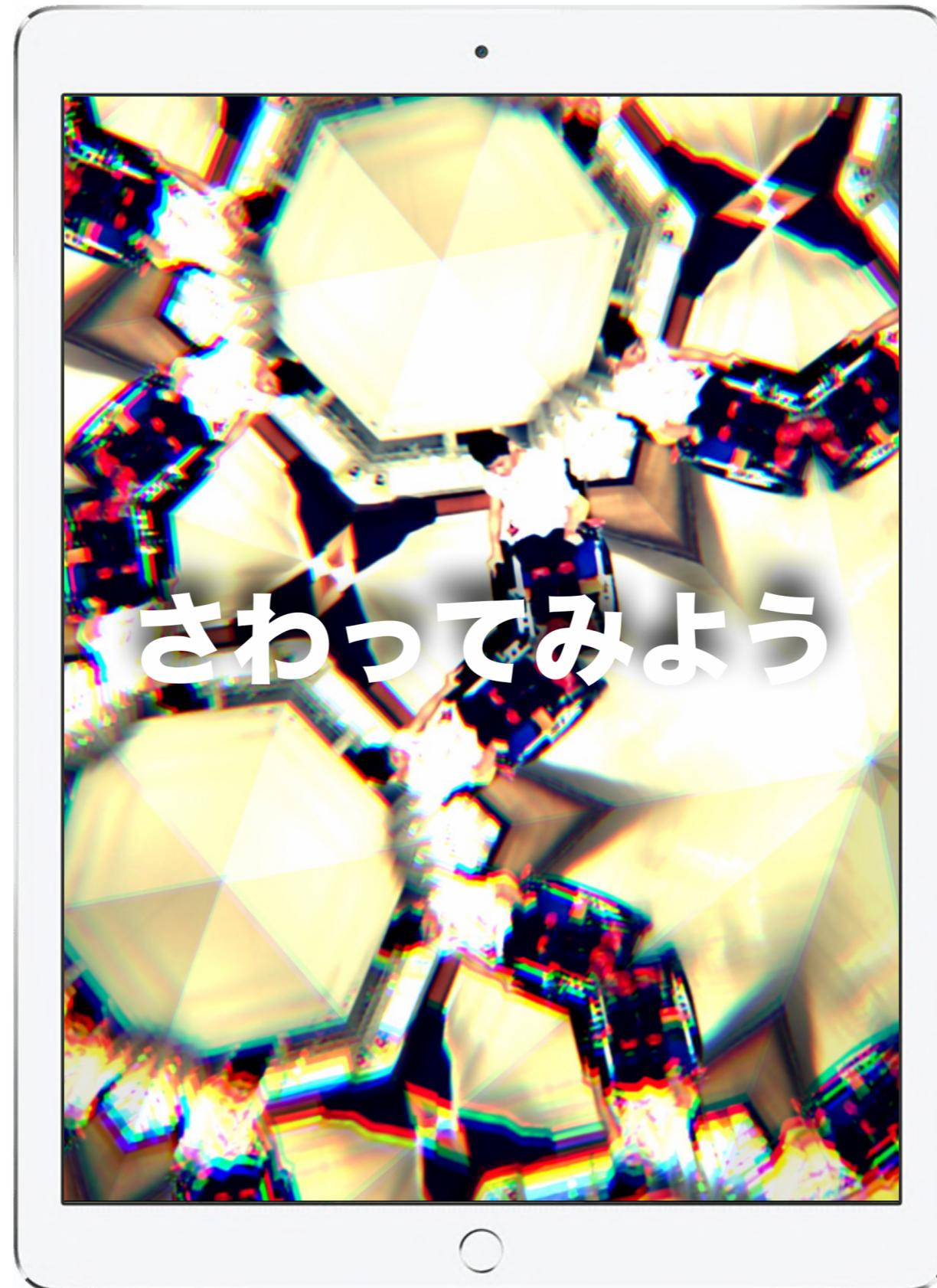


タップすると音声が出る。

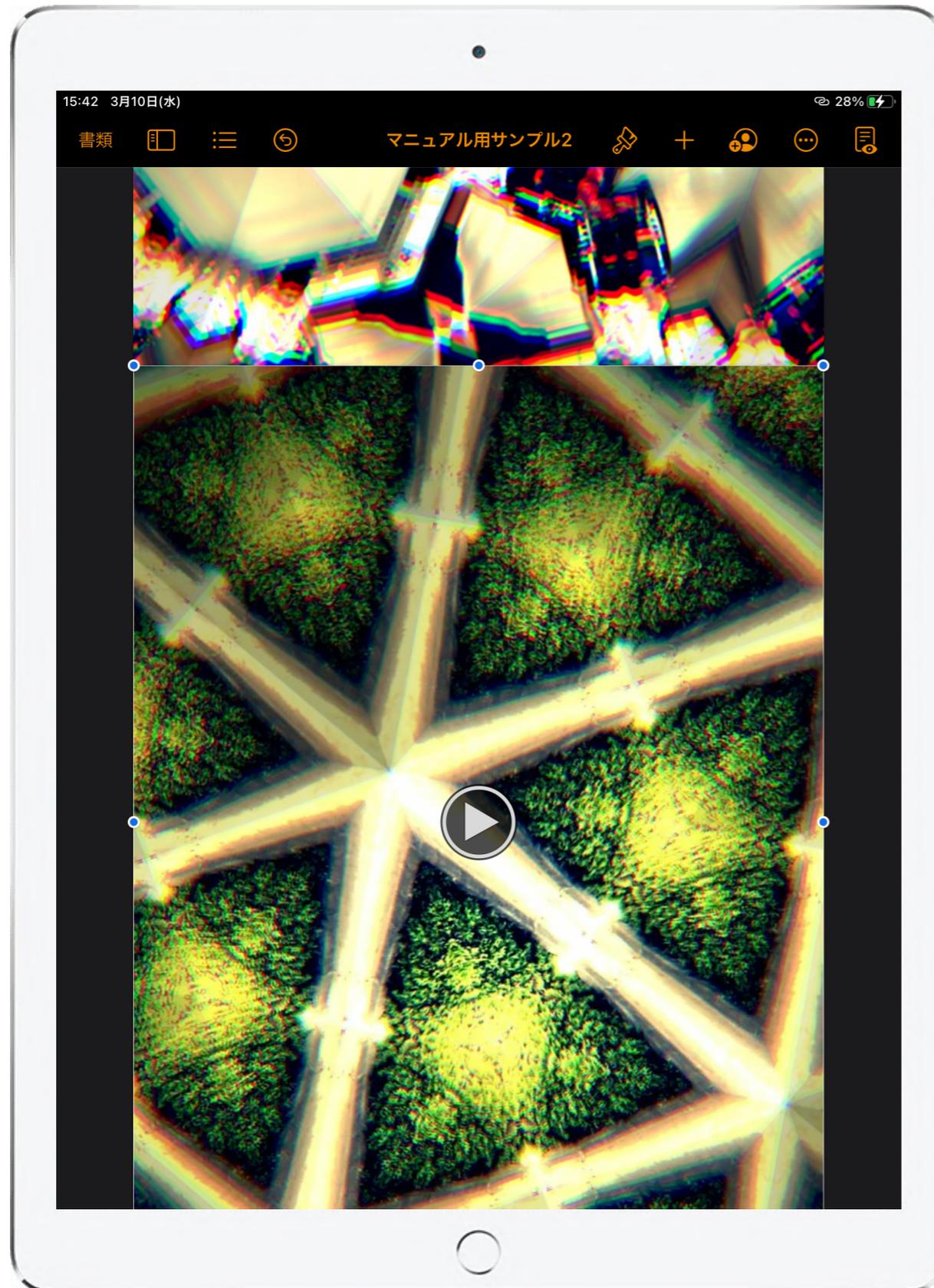
スワイプするとページがめくれる

「」マークをタップすると音声再生される。スワイプすることでページをめくることができる。

触ると動く絵本を作る



1、動画を挿入する



Pagesに動画を挿入する。
今回は万華鏡のアプリケーションで撮影した動画を使う。Pagesの編集画面いっぱい大きさに動画を拡大して配置した。

2、ブックを書き出す

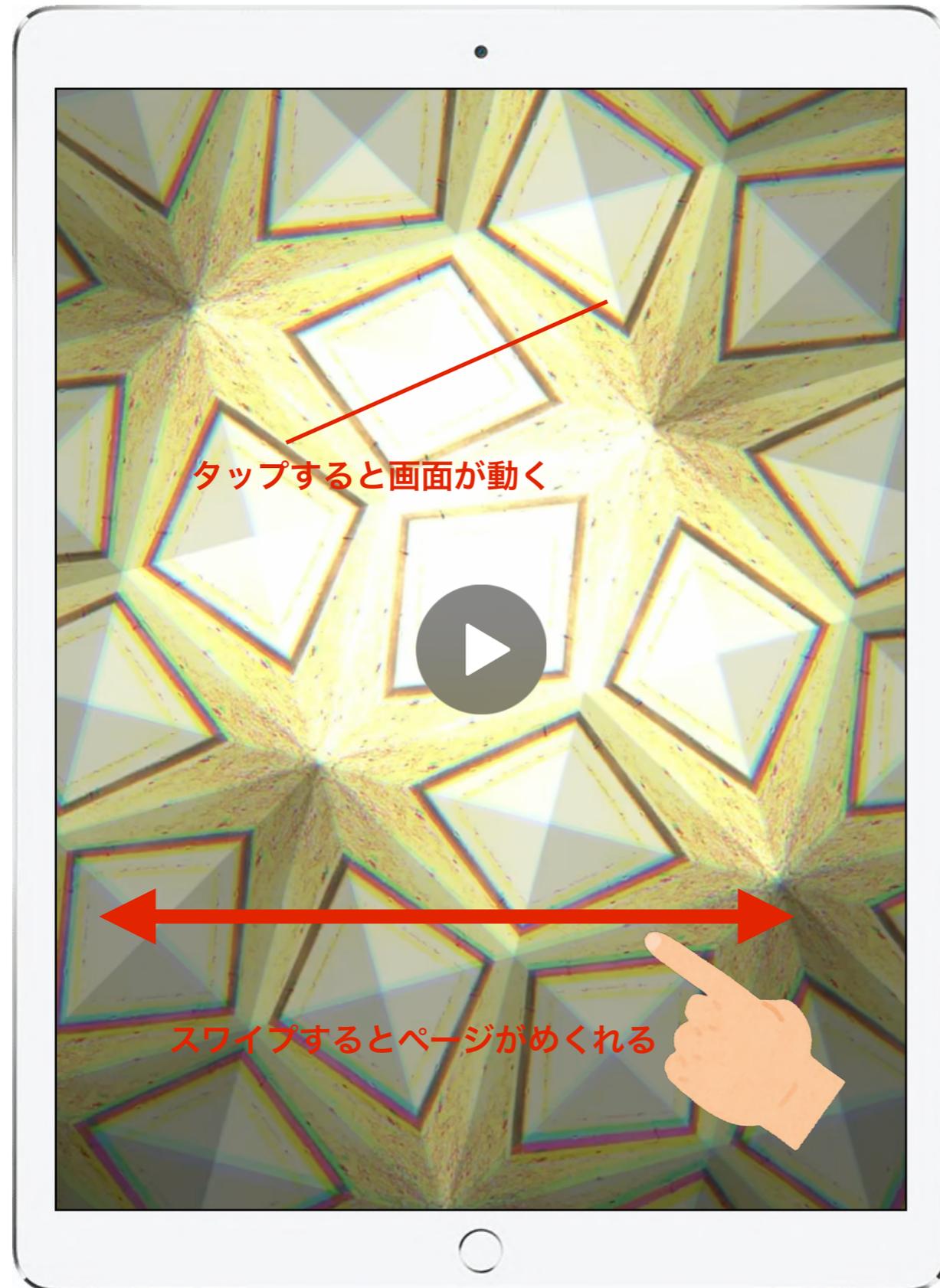


Pagesで、今回のような縦長のテンプレートを選択した場合、ブックに書き出す際に図で示すように「リフロー型」と「固定レイアウト方」のどちらかを選択する項目が出現する。

基本的にPagesで作成した通りのレイアウトでブックに書き出すため「固定レイアウト型」を選択するとよい。

※リフロー型は、ブックを見るデバイスに応じて図や動画などの大きさを自動修正する設定です。

3、できあがったブックを確認する



書き出しが完了したらブックのアプリケーションで作成したブックを確認する。今回の場合は、動画をタップすると万華鏡を覗いたような動画が再生される。

工夫次第で色々な動く絵本を作成することができる。